



2023年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月14日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東
 コード番号 6047 URL <https://gunosy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹谷 祐哉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者 (氏名) 岩瀬 辰幸 (TEL) (03)5953-8030
 四半期報告書提出予定日 2022年10月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第1四半期の連結業績（2022年6月1日～2022年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年5月期第1四半期 | 1,927 | △15.4 | △83 | — | △628 | — | 384 | — |
| 2022年5月期第1四半期 | 2,277 | 3.1 | 141 | △11.3 | 39 | △75.0 | 33 | △57.7 |

(注) 包括利益 2023年5月期第1四半期 812百万円 (212.8%) 2022年5月期第1四半期 259百万円 (208.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年5月期第1四半期 | 16.06 | 16.05 |
| 2022年5月期第1四半期 | 1.43 | 1.41 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|---------------|--------|------|--------|------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年5月期第1四半期 | 14,270 | 88.5 | 12,747 | 88.5 | | |
| 2022年5月期 | 13,518 | 87.3 | 11,934 | 87.3 | | |

(参考) 自己資本 2023年5月期第1四半期 12,632百万円 2022年5月期 11,804百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年5月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2023年5月期 | — | | | | |
| 2023年5月期（予想） | | — | — | — | — |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 2023年5月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-------|------|---|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,000 | 0.0 | 200 | △51.5 | △312 | — | 547 | 320.5 | 22.85 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年5月期1Q | 24,237,774株 | 2022年5月期 | 24,237,774株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年5月期1Q | 312,034株 | 2022年5月期 | 320,009株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年5月期1Q | 23,917,852株 | 2022年5月期1Q | 23,616,528株 |

（注）自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式（2022年5月期：118,442株、2023年5月期1Q：110,467株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループをとりまく経営環境につきましては、国内におけるスマートフォンの保有者の割合が2021年に74.3%と前年比5ポイント増加するなど、スマートフォンは引き続き普及拡大しており（総務省調べ）、また、2021年の広告費は前年比110.4%の6兆7,998億円と、2020年から続く新型コロナウイルス感染症の影響が下半期にかけて緩和し、広告市場全体が大きく回復しました。その中でも、インターネット広告費につきましては前年比121.4%の2兆7,052億円と、「マスコミ四媒体広告費」の総計2兆4,538億円を初めて上回りました（株式会社電通調べ）。

このような状況の下、当社グループは、既存のメディア事業においては「グノシー」の収益性の向上及びKDDI株式会社との協業アプリである「auサービスToday」「ニュースパス」の同社との連携強化による成長実現に注力しております。「グノシー」については、社会のインフラとなるような新しい時代のニュースメディアを目指し、社会的価値の高い「知っておくとよい情報」、個人的価値の高い「知りたい情報」の最適な配信の実現に向けた施策に取り組んでおります。当第1四半期連結会計期間においても、前年度における広告宣伝投資再開後の新規ユーザーの継続率は安定的に改善し、また、アルゴリズムや通知機能の改善などにより、長期の継続率についても改善傾向となりました。引き続き厳格な広告審査を行い、ユーザーの皆様安心してご利用いただけるような広告体験の実現に注力しております。

新規事業においては、引き続き社内/社外への成長機会への投資を行ってまいりました。ムードペアリングティーツー「YOU IN」は宿泊施設との提携を開始し、引き続き販路の拡大及び認知度の向上を進めております。また、当社の持分法適用関連会社であるGaragePreneurs Internet Pvt. Ltd.（以下、GaragePreneurs）においては、2022年6月に大型の資金調達を実施しました。GaragePreneursは昨年12月の評価額10億ドル突破によるユニコーン化から順調に成長を続けております。

収益面に関しては、当第1四半期連結累計期間において、Gunosy Adsに係る売上高を1,214百万円計上いたしました。また、アドネットワークに係る売上高においては、厳格な広告審査を継続する中、当第1四半期連結累計期間で201百万円を計上いたしました。

費用面に関しては、広告宣伝投資を抑え営業利益確保を優先する方針に転換した結果、広告宣伝費197百万円（前年同四半期比47.4%減）を計上するほか、アドネットワークに係る売上高の減少に伴い媒体費が減少いたしました。

その他、持分法適用関連会社であるGaragePreneursに関して持分法による投資損失549百万円を計上する一方、2022年6月に行われた第三者割当増資により当社の持分比率が変動したことに伴い、持分変動利益1,001百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,927百万円（前年同四半期比15.4%減）、経常損失628百万円（前年同四半期は経常利益39百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益384百万円（前年同四半期は33百万円）となりました。

なお、「グノシー」「ニュースパス」「auサービスToday」及び「LUCRA（ルクラ）」合計の国内累計DL数は当第1四半期連結会計期間末において7,100万DLとなり、前連結会計年度末比で118万DLの増加となりました。

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて751百万円増加し、14,270百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比79百万円の減少）、流動資産のその他の減少（前連結会計年度末比105百万円の減少）、投資有価証券の増加（前連結会計年度末比961百万円の増加）であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて61百万円減少し、1,522百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少（前連結会計年度末比38百万円の減少）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比47百万円の減少）、前受金の増加（前連結会計年度末比61百万円の増加）、流動負債のその他の減少（前連結会計年度末比38百万円の減少）であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて812百万円増加し、12,747百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（前連結会計年度末比383百万円の増加）、繰延ヘッジ損益の増加（前連結会計年度末比110百万円の増加）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末比291百万円の増加）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月15日に公表いたしました2023年5月期の連結業績予想に変更はありません。業績予想の前提についての、当第1四半期連結累計期間における状況と、今後の見込みにつきましては以下のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、1DL当たりの獲得費用、新規DL数について、それぞれ順調に推移いたしました。

売上高につきましては、「グノシー」への広告宣伝投資を抑制する中でも長期の継続率においては改善がみられたことにより、ユーザー数が計画を上回る水準で推移しており、新規ユーザーの割合についても堅調に推移しております。一方でユーザー当たり収益性の低下が課題となっており、改善に向けた各種施策に取り組んでおります。

費用につきましては、広告宣伝投資を抑え営業利益確保を優先する方針に転換した結果、広告宣伝費197百万円（前年同四半期比47.4%減）など、販売管理費が減少いたしました。また、アドネットワークに係る売上高の減少を受け、アドネットワークに係る原価が減少いたしました。

今後につきましては、ユーザーの継続率や広告収益の状況を慎重に見極めながら「グノシー」への広告宣伝投資を実施すると共に、KDDI株式会社と協同で、「auサービスToday」「ニュースパス」について、auユーザーの利用率向上に向けたプロダクト改善に注力してまいります。連結子会社である株式会社ゲームエイトにおいては、ゲーム攻略メディア「game8.jp（ゲームエイト）」の盤石化に伴う人材投資等を進めながらも、新たな成長ドライバーの獲得に向けた新規事業の推進等を進めてまいります。また、当社の社内新規事業として、D2Cブランド「YOU IN」の販路拡大を推進するほか、非連続的な成長に向け、社外の有望なスタートアップ企業に対する投資やM&Aに引き続き積極的に取り組んでまいります。

なお、2023年5月期の業績予想につきましては、広告市場の景況感を見極めながら計画の策定を行っております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,492 | 6,413 |
| 売掛金 | 772 | 747 |
| その他 | 612 | 506 |
| 流動資産合計 | 7,877 | 7,666 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 15 | 15 |
| その他（純額） | 10 | 10 |
| 有形固定資産合計 | 26 | 25 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 63 | 58 |
| その他 | 50 | 47 |
| 無形固定資産合計 | 114 | 105 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,180 | 6,142 |
| 繰延税金資産 | 241 | 260 |
| その他 | 76 | 69 |
| 投資その他の資産合計 | 5,499 | 6,472 |
| 固定資産合計 | 5,641 | 6,603 |
| 資産合計 | 13,518 | 14,270 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 637 | 598 |
| 未払金 | 297 | 270 |
| 未払法人税等 | 73 | 26 |
| 前受金 | 348 | 409 |
| ポイント引当金 | 7 | 4 |
| 株式給付引当金 | 13 | 6 |
| 賞与引当金 | — | 9 |
| その他 | 185 | 146 |
| 流動負債合計 | 1,563 | 1,472 |
| 固定負債 | | |
| 株式給付引当金 | 3 | 6 |
| 繰延税金負債 | 16 | 43 |
| 固定負債合計 | 20 | 50 |
| 負債合計 | 1,583 | 1,522 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,099 | 4,099 |
| 資本剰余金 | 4,099 | 4,099 |
| 利益剰余金 | 3,709 | 4,093 |
| 自己株式 | △463 | △455 |
| 株主資本合計 | 11,444 | 11,837 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 47 | 79 |
| 繰延ヘッジ損益 | 55 | 166 |
| 為替換算調整勘定 | 257 | 548 |
| その他の包括利益累計額合計 | 360 | 794 |
| 新株予約権 | 86 | 78 |
| 非支配株主持分 | 43 | 36 |
| 純資産合計 | 11,934 | 12,747 |
| 負債純資産合計 | 13,518 | 14,270 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日) |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 売上高 | 2,277 | 1,927 |
| 売上原価 | 1,276 | 1,192 |
| 売上総利益 | 1,001 | 734 |
| 販売費及び一般管理費 | 859 | 817 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 141 | △83 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 為替差益 | 2 | 14 |
| 還付加算金 | 0 | — |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外収益合計 | 2 | 15 |
| 営業外費用 | | |
| 支払手数料 | 3 | 4 |
| 遊休資産諸費用 | 101 | — |
| 投資事業組合運用損 | — | 7 |
| 持分法による投資損失 | — | 549 |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 105 | 561 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 39 | △628 |
| 特別利益 | | |
| 持分変動利益 | — | 1,001 |
| 新株予約権戻入益 | 10 | — |
| 特別利益合計 | 10 | 1,001 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 49 | 372 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 43 | 12 |
| 法人税等調整額 | △30 | △17 |
| 法人税等合計 | 13 | △4 |
| 四半期純利益 | 36 | 377 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | 2 | △6 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 33 | 384 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日) |
|------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 36 | 377 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 229 | 32 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | 110 |
| 為替換算調整勘定 | △5 | 2 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | — | 289 |
| その他の包括利益合計 | 223 | 434 |
| 四半期包括利益 | 259 | 812 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 256 | 818 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2 | △6 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については、今後の広がり方や収束時期を予測することは困難であります。今後2023年5月期の一定期間にわたり、当該影響が継続するとの仮定のもと、会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。